

離岸流に注意しよう！

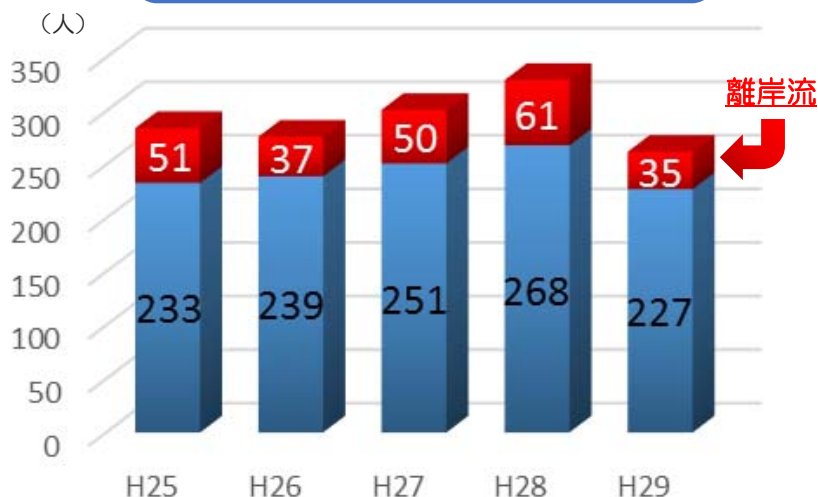
離岸流とは

波やうねりは沖から海岸へ打ち寄せますが、打ち寄せられた海水は、必ず流れやすい場所から沖へ戻ろうとします。この時に沖へ向かって発生する強い流れを「離岸流」と呼びます。離岸流が発生していると、気が付かないうちに沖まで流されてしまい大変危険です（オリンピック選手のように泳ぎが得意な方でも、逆らって泳ぐことは難しいと言われています。）。

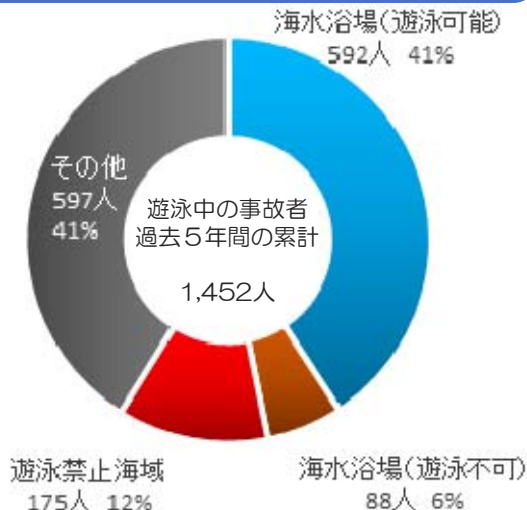
遊泳中に伴う海浜事故発生状況

	H25	H26	H27	H28	H29	総計
遊泳中の事故者数	284	276	301	329	262	1,452
離岸流によるものと思われる事故者数						
生存者数	38	27	44	52	29	190
死者・行方不明者数	13	10	6	9	6	44
計	51	37	50	61	35	234
離岸流による可能性がある事故の割合	18%	13%	17%	19%	13%	16%

遊泳中の事故者推移



事故発生場所別の事故割合



海水浴場（遊泳可能）：シーズン中の海水浴場内における遊泳であって、遊泳可能な状況
海水浴場（遊泳不可）：シーズン中の海水浴場内における遊泳であって、高波等により遊泳が一時的に禁止となっている状況、又は夜間
海水禁止海域：地方公共団体等から遊泳禁止海域とされている海域
その他：海水浴場又は遊泳禁止海域以外の海域における遊泳、シーズン外の海水浴場

離岸流（沖に急速に流された場合）について

- 離岸流はどの海岸でも発生する可能性があります。
- まずは、慌てずに落ち着いて、浮くことに専念すること。
- 浮き輪やライフジャケットを身に着けているなど、十分な浮力を確保できている状態の場合は、片手を大きく振る「助けてサイン」で危険を知らせること。
- 岸に向かって泳がないこと。
- 海岸と平行に泳いで脱出すること。泳力に自信がない場合は、流速が弱まってから、脱出し、海岸に向かって泳ぐか、無理に泳がず浮いて救助を待つことも有効（浮いて待て）。

海水浴を楽しむために

- 海水浴場内で遊泳すること。
- 自分の泳力を見極め、決して無理はしないこと。
- 天気予報を必ず確認すること。
- 風が強く吹いていて波が高い時には海に近づくかないこと。
- 遊泳禁止区域、遊泳期間外では泳がないこと。
- 子供から絶対に目を離さないこと。
- 子供だけで泳がない、泳がせないこと。
- お酒を飲んだら海に入らないこと。